

file 16

社会活動

三島美枝さん

くまもと生活者ネットワーク・熊本代表
くまもと生活者ネットワーク事務局長
男女共生社会を実現するくまもとネットワーク事務局

PROFILE

1951年熊本生まれ。「くまもと生活者ネットワーク・熊本」は、グリーンコープ生協くまもとの活動から生まれた政治団体。



生活者の視点を大切に、
政治への関心は、
暮らしへの関心です

くまもと生活者
ネットワーク・熊本
熊本市中央区平成3-15-1
TEL: 096-378-4239

2009年	2006年	1998年	1979年	1978年	1974年
男女共生社会を実現するくまもとネットワーク事務局	くまもと生活者ネットワーク・熊本の代表となる	現グリーンコープ生協くまもと理事・副理事長	第1子・第2子・第3子出産・PTA活動・家庭教育学級	結婚を機に退職	大学卒業。書籍の販売をする熊本の会社に就職

輝きの軌跡

三島美枝さんの
キャリアストーリー

取材担当
熊本学園大学2年
平山真子

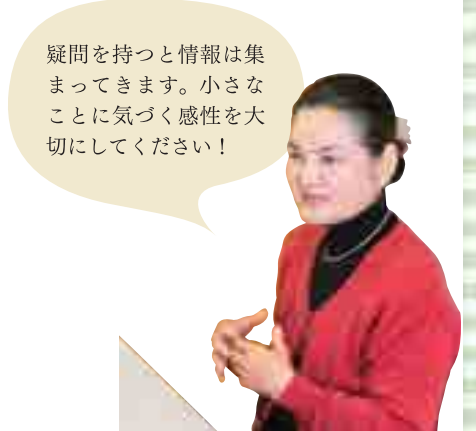
くまもと生活者ネットワーク・熊本の主な活動内容を教えてください。
三島 生活者ネットワークは食・環境・福祉など生活の中の問題に取り組む生協の活動から生まれました。地方議会に女性議員(代理人)を登場させるために活動しています。議員に委任させるのではなく、課題解決のために、議員と一緒に考え行動する団体です。また、「男女共生社会を実現するくまもとネットワーク」の構成団体でもあります。質問状や要望書を送るなど、常に生活者の視点で政治(議会)を見ています。

活動のきっかけはなんですか。
三島 私自身、肌が弱いこともあり、食べ物や自然環境については以前から興味がありました。生活者として安心して暮らす環境を作るためにはどうしたらよいかを考えるようになりました。そういった社会のルールを作っているのは、政治(議会)です。課題に対して「こうしたらいいの」という提案を行い、課題解決することを活動の中で学びました。

生活者の視点が大事なのですね。
三島 PTAの役員をしていたころ、保護者会の案内を出す返事の保護者氏名は男性なのに、出席するのはお母さんということに違和感があり

ました。母親も保護者ですよ。そういうことも含め、「何となく」ではなく暮らしに関心を持てば疑問が生まれます。それが、生活者の視点であり、大事にすべきことだと思います。今後、力を入れていきたいことはどんなことでしょうか。

三島 もっと女性の感性や視点、能力が生かされるように「意思決定の場に女性を」増やす活動を続けていきます。特に女性議員を…。なかなか日本は男女共生社会が進みませんが、諦めたら後退です。日常的にはダンボールコンポストの講師などもしています。これも生活者の視点からゴミ問題に取り組む一つの方法です。疑問に感じたことは声を上げる。未来の子どもたちのためにも、今、自分にできることをやり続けたいと思っています。



疑問を持つと情報は集まってきます。小さなことに気づく感性を大切にしてください!